

冬の学習会2025実践発表

【中学校・読むこと】資料

新琴似中 未永

単元

不便の価値を見つめ直す(中学校第一学年・説明的文章)

単元の目標

【知・技】

・要約するための情報整理のしかたを理解し、必要な情報を取り出すことができる。

【思・判・表】

・目的に応じて必要な情報に着目しながら要約し、内容を解釈することができる。

【主体的】

- ・要約に必要なポイントを見つけようとしている。
- ・相手に伝わるよう要約しようとしている。

★教材の紹介

現代社会では「便利さ」が重視され、不便は悪とされがちですが、筆者は「不便」にも価値があると提唱しています。筆者は「不便益」という概念を導入し、不便がもたらす利点を考察しています。例えば、徒歩での移動は時間や体力を要しますが、その過程で新たな出会いや発見があることがあるため、便利さだけを追求することが本当に人の生活を豊かにするのか疑問を持ち始めた筆者は、不便が身体能力やモチベーションを高める要素であると示しています。さらに、筆者は「不便益」が自発的な考えや工夫を促し、達成感を得る機会を増やすと述べています。単に便利さを追求することが、楽しさや喜びを損なう可能性があるため、筆者は「不便」の良さを認識し、新たなデザインに生かすことの重要性を強調しています。そして、日常生活においても「不便」を避けるのではなく、その中に気づきや楽しみを見出すことで、生活をより多様に捉える可能性があることを提案しています。あなた自身の日常での「不便益」を再考することを勧めています。

活動内容

AIに、授業で既習の文章を要約させてみて、要約のポイントや、「わかりやすい要約」とはどのようなものなのかのヒントを得る。さらに、AIが書いた要約と自分たちの要約を戦わせて、その結果から「わかりやすい要約とはどのようなものか」考える。AIとの戦いは、実際に400字要約の文章を一人一つ作り、班の中から代表を一つ選定し、文章を読んだことのない他教科の先生に、どの班の文章が「わかりやすかった」かを選んでもらう。その際に、AIが要約した文章も紛れさせ、AIが選ばれなければ人間の勝利となる。

※「わかりやすい」＝「不便の価値を見つめ直す」というタイトルが要約文で伏線回収されたかどうか

※AIが書いた要約と自分たちの要約を戦わせて、その結果から「わかりやすい要約とはどのようなものか」考える。→「どうやったらAIに勝てる要約にできるかな?」という問いが、今回の学習会のテーマである「児童生徒自らが学びの主体となるための問いを生み出す単元・授業作り」にリンクしている

時間扱い

時数	ねらい・学習活動
1 (個人)	<ul style="list-style-type: none">・文章内容を捉える・「担任の先生にこの文章の内容を正確に伝えてきて!」と無理難題を伝え、反感を買う・反感の内容から、「どうしたら全部読み上げることなく、相手に内容を伝えられるか」という問いにつなげる。・この単元の学習の見通しを持つ(学習計画表スプレッドシート)ここでAIと戦うことも確認する
2 (学習形態は選択)	<ul style="list-style-type: none">・どうすれば長い文章を短くまとめることができるだろう?・「ダイコンは大きな根?」「ちょっと立ち止まって」「シジュウカラ」をAIに要約させてみて、要約するときのポイントを見つける。(何を残し、何をカットしているかなど)・複数社のAIでの要約結果を比較し、「わかりやすい要約」とはどのようなものか、どんな特徴があるかを見つける。・本時の活動から得た、要約をするときのポイントをワークシートにメモする。
3 (学習形態は選択)	<ul style="list-style-type: none">・「不便益」を実際に要約する。(400~650字)ドキュメントに本文をコピーして、そこから削ったり表現を直したりしてできる限り400字に近づける。※要約の作業は「個人」「ペア」「複数人」から選べる。ただし、合作ではなく一人一つ要約の文章を作る・AIに負けないために、どのような点を工夫すればよいか考える
4 (学習形態は選択)	<ul style="list-style-type: none">・前時の続き・自分の進捗や状況に応じて学習形態を変更する
5	<ul style="list-style-type: none">・班で代表となりうる要約の文章を一つ決める。

(班)	・代表となった文章を、さらに AI に負けない文章にするためにはどうしたらよいか、班で推敲する。
6 (個人)	・結果発表 ・なぜ AI に勝てたか(負けたか)を分析する ・「わかりやすい要約とはどのようなものか」「要約のポイント」についてのまとめレポートを作成する。

授業で実際に使用したもの

学習計画表(スプレッドシート)

	C	D	E	F	G	H	I	J	K
「不便」の価値を見つめ直す 学習計画表									
目的:	「不便」を読んだことのない相手に、文章の内容を伝えるための「要約」ができるようになる。								
	AIよりも「わかりやすい」要約を目指す。								
課題:	「わかりやすい要約」とはどのようなものか。								
	よりよい要約のポイントはなんだろう。								
活動:	「不便」を読んだことのない他教科の先生に、内容を伝えるための要約文を作る。AIよりも「わかりやすい」と相手に評価してもらえる文章を目指す。								
	※要約とは...その文章・本の内容を、まだ読んでいない人にもわかるように短くまとめた文章のこと。								
順序	学習課題	使うもの	学習形態	全員共通の取組	振り返り				
1	今回の学習の目的と目標を知り、見直しをもって学習計画表を作る。	教科書 学習計画表	個人	★はじめに教師主導で教科書内容(p176～183)を確認する。 ★学習計画表の作成	最初は不便は悪いことばかりだと思っていたけれど、教科書を読んで、便利と不便どちらにも良い点と悪い点があり、それらを上手く活用していけばいいとわかった。				
2	「わかりやすい要約とはどのようなものか」「要約のポイント」についてAIからヒントを得る。	インターネット(AI) ワークシート	ペア	★AIに「ちょっと立ち止まって」を要約してもらおう。 ★ワークシートに「わかりやすい要約とは」「ポイント」メモする。	いろいろな種類のAI要約機能を使って、要約の仕方についてのポイントを探った。これにより、文字数を少なくするために類義語を使って短くしたり、文章の流れがわかりやすくなる語句や筆者の仮説や意見の裏付けやきっかけ、根拠などの文章の主となる内容以外は省かれているということがわかった。また、読者に興味を持ってもらうためにつけられた、なくても意味が伝わる言葉などは省かれていることに気づいた。				
3	「不便」を要約する。(400字)	教科書 ワークシート Googleドキュメント	個人	★複数人で作業する場合も合作ではなく一人一つ要約をつくって提出する。 ★前回のワークシートを参考に、Googleドキュメントで作成する。	ドキュメントに「不便」の文章を要約した。今回、文章を短く要約するためには似ている部分や違う言葉に言い換えられる部分、そこまで重要じゃない部分を大幅に消していく必要があるということがわかった。また、400字というのは思っていたよりも短く、整理していくのが大変だとわかった。まだ3分の1ぐらしか終わっていないので次回も要約を進めていきたい。				
4	AIと戦わせる代表を決め、その文章をさらに強化する。	教科書 ワークシート Googleドキュメント	班	★班の中から1つ代表を決める。 ★選ばれた文章をさらにわかりやすくするためにどうしたらよいか、班で検討する。	班の中で一つ要約文の代表を決め、班の中でさらに改善できるところがないか意見を出し合った。その結果444文字の良い要約文が完成した。わかりやすいと思える文章は事例がほぼ省略されていて、要点だけを捉えていることに気づいた。それにより自分の文章で仮説が足りなかったことなどに気づけた。AIと比較してもいい文章ができたと思う。				
5	勝負の結果をふまえ、「わかりやすい要約とはどのようなものか」「要約のポイント」についてまとめレポートを作成する。		個人(まとめレポート)	★なぜAIに勝てたか(負けたか)を分析する。 ★まとめレポートを提出する。					
		教科書 インターネット ドキュメント スプレッド ワークシート 学習計画表	個人 ペア 複数人		感想ではなく、その日の授業の取組についての振り返りを毎時間書く。 (何をしたか、何に気づいたか、何がわかったか、どう変化したかなど...)				

わかりやすい要約とはどういうものかという点、本文を全て書くのではなく、テーマに関わる検証や事例など、話題に対する答えに近づけることとなるもの(つまり重要な部分)だけを残して、分かりやすくまとめたもの。要約のポイントとしては、表現を分かりやすく工夫(ふわと)したり、省略できる部分を省略したりと、多角的に見て文章をまとめ、誰が見ても読みやすく、理解しやすい内容にする。しかし、省略しすぎて内容が短くなりすぎて理解しづらくなる場合もある。そのため、「どのくらい省略するのか」、「どこを残してどこを削るか」などの判断をしっかりとしなければいけない。

わかりやすい要約とは、必要な部分だけが書かれていた。例えば、Aエの要約だと例は少なめで、不利益のメリットを多く書いていた。しかし、Aエの表現は少しだけ苦しいので、やわらかい表現で書いた方が読みやすいことが分かった。他にも最初の段落は文を理解するために必要な情報、中には例と主張、目取後は筆者が一番言いたいことをまとめたいことが分かった。また、つなげられる部分はつなげて書かれていた。やわらかいポイントをまとめると、例よりも主張を多く書く。また、苦しい表現にしない。段落の使い方を考える。つなげられる所はつなぐ。などのポイントがあることが分かった。

要約のポイントは、大事な所を残す(具体例、筆者の考え)などや、文字数を少なくし表現をやわらかくするなど、読む相手が簡単に内容を理解できるように要約すると良い。例が何個もある場合は、その中から一つだけ例を選んでそれ以外の例をカットすると、読みやすくなる。そして、それ以外の例に関する所もカットするとさらに読みやすくなる。

分かりやすい要約とは、文章に入っている例や筆者の考え、絶対に必要なキーワードを入れるといった説明する時に必要不可欠な物を入れるという事。要約をする時は文章の順番を入れかえないという所も大事で、文章を入れかえると意味が伝わらなくなるため、入れかえてはいけない。文章を要約する時は全体図をイメージできるようにまとめる事も大事で、つながりが分かるようにするため文章の構成が分かりやすくなる。自分の意見や考えを入れると、ややこしくなるため、自分の意見、考えを入れればいけない。文章を客観的に見る事も重要となってくる。